

## サービスや運用ポイントを聞く

カルテットコミュニケーションズ

堤 大輔 社長

リストティング広告の運用代行が専門

リストティング広告の運用代行を専門とするカルテットコミュニケーションズ（本社愛知県）。500業種以上の運用を行ってきた経験と運用のシステム化により、運用費の定額制を実現している。また、グーグルが主催するエクセルント・パフォーマー・アワードでは3期連続で受賞した実績を持つ。同社のサービスや運用のポイントについて、堤大輔社長に聞いた。



## リストティングで陥りやすい罠

——7月からグーグル、ヤフーとともにリストティング広告のプラットホームに変更を加えましたが、メリットを分かりやすく教えてください。

例えば、グーグルアドワーズで47の全ての都道府県に広告を出すとします。以前は、同じ設定なら1つのキャンペーント（広告を作成する際の広告管理単位）で作成できました。が、都道府県ごとに入札価格やキーワードを変える場合、個別にキャンペーンを作成する必要がありました。また、PCやスマートフォン（スマホ）などのデバイスごとの設定も必要なため、膨大な時間とコストがかかって

まの業界の知識が不足しています。企業により事情はさまざまですが、人件費と代理店に払う費用を比較し、どちらがベストか判断してもらいたいです。

——リストティングの運用の知識を学ぶにはどうしたらよいでしょうか。ある程度情報を開示してくれる代理店に依頼することです。

リストティング広告は、商品認知を求めて機能追加や変更が多く、独学で学ぶのは難しいと思います。また、全部の知識を覚えて

いました。そのため、全国に配信するのではなく、購入者が多い地域を分析し、配信する地域を限定するなどの代替案を提示していました。

しかし、今回の変更によって、1つのキャンペーンでデバイスごとの単価設定や、配信す

ました。作成する時間やコストも削減され、我々の手間が省けた結果、どんな広告予算にも対応できるようになりました。

——リストティング広告の運用に悩みを持つ事業者に共通点はありますか。自社での広告の運用が限界になつたという声が多いです。時間、人手、知識の不足が原因だと考えられます。我々のような代理店に任せせるのも良いです

が、社内にリストイングの担当者を置くのが理想です。我々は外部の人間なので、お客様をよく陥りがちな罠があります。それは、潜在層を狙いすぎて、的任せることがあります。

——自社でリストティングを運用する際に注意することはありますか。

当社はリストティング専業ですので、リスティングに関する知識は豊富です。今までに、

可能ですので、是非ご相談ください。

——ネット広告の今後展望を聞かせてください。

——ネット広告の今後展望を聞かせてください。